

はじめに

2024年12月21日、宮崎大学木花キャンパス創立330記念交流会館コンベンションホールにて「日本化学会九州支部フォーラム2024」が開催されました。参加者の総勢は73名で、九州地方の大学・化学系企業だけでなく、中国・近畿地方といった遠方の大学からもご参加いただきました。また、本部から丸岡啓二会長にもお越しいただきました。さらには高校生の参加もあり、産学間だけでなく、高大間の交流も深まる意義深いイベントになりました。

ポスター発表

午前中はポスター発表が行われました。大学生・大学院生から33件、高校生から2件、教員から5件、合計40件の発表がありました。分野も有機化学・無機化学・生化学・高分子化学・電気化学・計算化

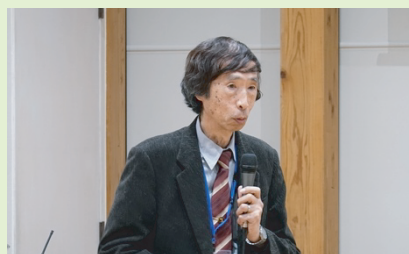


ポスター発表の様子

学などと多岐にわたっており、馴染みのない研究トピックスに触れることができ、「化学」という大きな枠組みで集結することの醍醐味を感じることができました。90分の発表時間も短く感じられるような活発な議論が繰り広げられました。

依頼講演、企業紹介、特別講演

午後は、宮崎大学の宇都卓也先生（講演題目『計算化学に基づくイオン液体の構造物性相関』）、鹿児島大学の富安卓滋先生（講演題目『小規模金採掘活動によって放出される水銀の環境挙動』）から依頼講演、MHIソリューションテクノロジー(株)と三菱ケミカル(株)から企業紹介、丸岡会長から特別講演（講演題目『合成後期段階における官能基化を目指した新規有機ラジカル触媒の設計』）をいただきました。最先端の研究結果や企業の活動について知ることができ、多くの学びが得られました。



丸岡啓二会長の特別講演



ポスター発表賞授与式

ポスター授賞式

午前中に行われたポスター講演の中から、特に優れた講演に対してポスター発表賞を授与しました。また、高校生の優秀発表者には奨励賞を授与しました。フォーラムの最後に行われた授与式では、合計8名の受賞者に徳永信九州支部長から賞状が贈られました。

おわりに

本フォーラムは九州支部としては初の試みでした。年末の忙しい時期にも関わらずご参加いただきました皆様ならびに白上努先生をはじめ開催に多大なご協力をいただいた宮崎大学の先生方には、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

〔2024年度九州支部幹事
赤松寛文（九州大学工学研究院）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan